



本事業は、SDGsの「17 パートナシップで目標を達成しよう」に資する取組です。

2026年5月18日（月）

愛知県政策企画局

国際課国際戦略グループ

担当 野村、中井

内線 2448、2399

ダイヤル 052-954-6130

愛知県経済産業局海外連携推進課

海外連携グループ

担当 中野、土本

内線 5189、5181

ダイヤル 052-954-7474

知事の米国渡航中の行事結果について

2026年5月15日（金）午後、知事は米国ワシントンDCにおいて、^{やまだ しげお}山田 重夫駐米日本国大使と面談しました。

その後、カリフォルニア州に移動し、5月17日（日）、知事は2023年11月に経済産業省が設置したスタートアップ支援拠点「ジャパン・イノベーション・キャンパス」を訪問し、施設内を視察するとともに^{あかし ひろよ}明石 礼代所長と面談しました。次に、シリコンバレーに本社を置くベンチャーキャピタルであるペガサス・テック・ベンチャーズの創業者兼CEOであるアニス・ウヅマン氏ほか同社幹部と面談し、県内企業等によるイノベーションの創出等について意見交換を行いました。続いて、シリコンバレー在住の起業家で、Junify 共同創業者兼CEOの^{やすたけ ひろあき}安武 弘晃 氏及び^{プラグ アンド プレイ}Plug and Play創業者兼CEO サイド・アミディ氏と面談を行いました。

1 山田 重夫 駐米日本国大使との面談

（担当課：国際課）

(1) 日時

2026年5月15日（金）午後6時から午後8時30分まで

（日本時間5月16日（土）午前7時から午前9時30分まで）

(2) 場所

駐米日本国大使公邸

(3) 面談者

山田 重夫 駐米日本国大使

(4) 愛知県側出席者

大村 秀章知事

(5) 内容

大村知事は、駐米日本国大使公邸を訪問し、山田大使と面談しました。

大村知事は、5月11日（月）及び12日（火）に出席したテキサス州アーリントン市で開催された「日本テキサス経済サミット」での成果等について、意見交換をしました。また、その後、同州オースティン市に移動し、13日（水）にスタートアップ・エ

コシシステムの中核であるテキサス大学オースティン校や、サウス・バイ・サウスウエスト社を訪問したことを話しました。さらに、5月14日（木）及び15日（金）には、ワシントンDCで多くの連邦議員と面談し、昨年引き続き、トヨタ自動車を始めとした愛知県企業及び日本企業の米国への投資状況を説明した上で、日米の経済関係の更なる発展について支援を求めたこと等を伝え、意見交換をしました。

山田大使からは、米国における日本の位置付けや米国情勢について説明がありました。



山田大使との記念撮影

2 ジャパン・イノベーション・キャンパスの視察及び所長・明石 礼代 氏との面談

（担当課：海外連携推進課）

（1）日時

2026年5月17日（日）午前9時30分から午前10時30分まで
（日本時間5月18日（月）午前1時30分から午前2時30分まで）

（2）場所

ジャパン・イノベーション・キャンパス（パロアルト市）

（3）面談者

明石 礼代 所長

（4）愛知県側出席者

大村 秀章 知事

（5）内容

大村知事は、2023年11月に経済産業省が設置したスタートアップ支援拠点「ジャパン・イノベーション・キャンパス」を訪問し、同施設の明石所長と面談しました。

始めに、明石所長の案内のもと施設内を視察し、明石所長から施設の運営状況や今後の活動方針、シリコンバレーの動向等について説明を受けた後、シリコンバレーのスタートアップ・エコシステムや双方の取組等について意見交換を行いました。

大村知事は、STATION Aiにおける海外スタートアップの現状や海外連携の取組について説明し、「STATION Aiの海外スタートアップや女性起業家の割合をさらに高めることで、STATION Aiのダイバーシティを高め、さらなるイノベーションの創出につな

げたい。」と話しました。

これに対して明石所長は、「STATION Ai の取組は日本で他に類を見ない素晴らしいものである。また、スタートアップ・エコシステムの発展・充実には、プレイヤーであるスタートアップの数や質に加え、自治体を始めとした行政との関係が重要だと感じている。ヨーロッパ等の他国からは自治体がシリコンバレーに来ることが多い。スタートアップやオープンイノベーションの分野で積極的に海外連携を進めている愛知県の実践は、世界の潮流を踏まえた非常に的を射た施策である。」と話し、本県のエコシステムの更なる成長拡大に期待を寄せました。



施設視察の様子



明石所長との面談の様子



明石所長との記念撮影

【ジャパン・イノベーション・キャンパス概要】

- 開 所 2023年11月12日（稼働開始：2024年1月）
- 施設概要 コワーキングスペース44席、ボックスシート6席、イベントスペース 他
- 建物管理 森ビル株式会社
- 入居者数 スタートアップ139社（2026年4月末時点）
- 事業内容 経済産業省が主催するシリコンバレーのイノベーション拠点。日本政府が掲げる「スタートアップ育成5か年計画」の取り組みとして、森ビルが企画・運営を行い、ワークスペースの提供、ビジネスパートナーの紹介、ネットワークイベントの開催等を実施している。

3 ペガサス・テック・ベンチャーズ創業者兼CEO アニス・ウツザマン氏との面談

（担当課：海外連携推進課）

（1）日時

2026年5月17日（日）午前11時20分から午後12時55分まで

（日本時間5月18日（月）午前3時20分から午前4時55分まで）

（2）場所

ペガサス・テック・ベンチャーズ本社近郊（サンノゼ市）

（3）主な面談者

創業者兼CEO アニス・ウツザマン 氏

パートナー兼COO 秋元 春美 氏

パートナー ビル・ライカート 氏

パートナー メアリー・ジョー・ポッター 氏

パートナー 森本 作弥 氏

（4）愛知県側出席者

大村 秀章 知事

（5）内容

大村知事は、シリコンバレーに本社を置くベンチャーキャピタル「ペガサス・テック・ベンチャーズ」の創業者兼CEOであるウツザマン氏ほか同社幹部等と面談しました。

冒頭、ウツザマン氏は、同社が主催する世界最大のスタートアップピッチイベントである「スタートアップワールドカップ」の予選を4月に名古屋市で開催したことについて、「知事にも登壇頂き、愛知県の協力のおかげで大盛況のうちに開催することができた。」と感謝を述べ、『スタートアップワールドカップ』の初代優勝スタートアップは愛知県発祥であり、それ以降も愛知県のスタートアップは、決勝戦で優秀な成績を収めており、愛知県のポテンシャルの高さを感じている。」とし、更に「ペガサス・テック・ベンチャーズはシリコンバレーで30年以上の経験を有し、インナーサークルと言われるコアのコミュニティと愛知県企業をつなぐことができる。今後とも知事の力を借りながら、シリコンバレーと愛知県の架け橋となっていきたい。」と話しました。

これに対し大村知事は、「スタートアップワールドカップ」名古屋予選の成功へのお

祝いの言葉を述べるとともに、「開催がきっかけで、御縁ができたことに感謝する。同大会が更に世界に拡大していくことを期待している。」と話すとともに、「ウツザマン氏の著書を拝読したが、日本のイノベーション創出への熱い思いが伝わってきた。本県及び日本企業に対する支援に感謝する。」と話しました。

また、大村知事は、開業から1年半となる STATION Ai の現状や取組について説明したうえで、「愛知県には、世界でも有数の製造業の集積がある。こうした土壌はディープテックをはじめとしたスタートアップによるイノベーション創出の切り札となると考えている。是非、ペガサス・テック・ベンチャーズの知見を活用した県内企業への支援をお願いしたい。」と話しました。

これに対し、ウツザマン氏及び同社幹部からは、「一般的に創業期のスタートアップに対する支援は、政府や自治体が行い、企業はスタートアップがある程度成長するまで支援をしないのに対し、シリコンバレーでは企業が積極的にスタートアップに投資することで資金が流入し、現在の発展につながった。STATION Ai において、多くのスタートアップとパートナー企業がワンループで活動していることは、シリコンバレーの精神につながる大変素晴らしい取組であると思う。」との発言がありました。更に「製造業を始めとした世界に誇る日本の事業会社が STATION Ai にパートナー企業として参加していることは、海外から優秀なスタートアップを呼び込むに当たり、大きな魅力となっている。」と話しました。

また、ウツザマン氏から「来年も『スタートアップワールドカップ』の予選を名古屋市で開催したい。開催に当たり、県と更に連携をしていきたい。」との発言があり、これに対し大村知事は「喜んで協力したい。」と述べ、愛知県のイノベーション創出に向けて両者で連携していくことを確認しました。



ウツザマン氏との記念撮影

【ペガサス・テック・ベンチャーズ概要】

- 設立 2015年
- 創業者 アニス・ウツザマン
- 本社 カリフォルニア州シリコンバレー
- 事業内容 世界中の優れたスタートアップ企業にビジネス面及び金融面での支援を提供するベンチャーキャピタル。3,000億円の運用総資産額を有し、これまでに290社以上のスタートアップに投資している。

【スタートアップワールドカップ概要】

ペガサス・テック・ベンチャーズが主催する世界最大級のグローバルスタートアップピッチコンテスト。優勝者には100万ドルが主催者から投資される。2017年の初開催から過去7回開催されている。

地域予選は、世界130の国と地域で開催され、予選を勝ち抜いたスタートアップが、シリコンバレーで行われる決勝戦に登壇する。

4 シリコンバレー在住の起業家・安武 弘晃 氏及び Plug and Play 創業者兼 CEO サイド・アミディ氏との面談

(担当課：海外連携推進課)

(1) 日時

2026年5月17日(日) 午後1時20分から午後3時00分まで

(日本時間5月18日(月) 午前4時20分から午前6時00分まで)

(2) 場所

Plug and Play 本社オフィス (サニーベール市)

(3) 面談者

Junify 共同創業者兼 CEO 安武 弘晃 氏

Plug and Play 創業者兼 CEO サイド・アミディ氏

(4) 愛知県側出席者

大村 秀章 知事

(5) 内容

大村知事は、元楽天株式会社の最高技術責任者であり、シリコンバレー在住の起業家で、Junify 共同創業者兼 CEO の安武 弘晃 氏と面談を行いました。

最初に、大村知事は、2024年10月に開業した日本最大のスタートアップ支援拠点である STATION Ai の現状と愛知県の取組について説明しました。

次に、安武氏から、シリコンバレーのスタートアップやソフトウェア産業の動向等についての説明の後、愛知県のスタートアップ・エコシステムの更なる充実等に向けた意見交換を行いました。

安武氏からは、STATION Ai を引き合いに「様々な人が集まってくる場所は重要で、高い効果がある」、「製造業の強い日本がソフトウェアの力をもっと持てばチャンスがある」、「これまで人材はアメリカに集中しがちだったが、今は流動性が高まってきており、優秀な人材を日本に引き込むチャンスである」との発言がありました。

その後、10年ぶりの訪問となった Plug and Play 本社オフィスにおいて、創業者兼

CEOのアミディ氏の案内で本社施設を視察した後、Plug and Playが行っているスタートアップ支援やイノベーション創出支援の取組について説明を受けました。

アミディ氏からは、2026年1月に、STATION Ai内に設立したPlug and Play Japan 東海拠点において、産官学で連携したイノベーション創出の取組を推進していく予定であるため、愛知県とも一緒になって盛り上げていきたいとの話がありました。



安武氏との記念撮影



Plug and Play アミディ氏との記念撮影



前回（2016年4月）訪問時のサインの前にて

【Junify 概要】

- 設 立 2016 年
- 創業者 安武 弘晃 (CEO)、浜田卓 (CTO)
- 本 社 米国カリフォルニア州パロアルト
- 業 種 SaaS (クラウドセキュリティ/アクセス管理)
 - ・スマートフォンを「鍵」として活用し、SaaS をはじめとするクラウドサービスへの安全なアクセスを実現する企業向けセキュリティプラットフォームを提供。
 - ・共有アカウントや特権アカウントの管理、アクセス制御、監査ログ取得などを通じ、セキュリティと業務生産性の両立を支援する。
 - ・リモートワークやハイブリッドワークなど、柔軟な働き方を前提とした企業の情報システム環境に対応したソリューションを展開している。

【Plug and Play 概要】

- 設 立 2006 年
- 創業者 サイド・アミディ
- 本 社 米国カリフォルニア州サニーベール
- 事業内容
 - スタートアップ、企業、投資家、官公庁などを結びつけることでオープンイノベーションを推進する世界最大級のイノベーションプラットフォーム。
 - 多岐にわたる分野でスタートアップ支援プログラムや投資を行い、世界 70 以上の拠点で活動。独自のネットワークとリソースを活用し、世界の大手企業をパートナーとして、新たな成長機会を提供するとともに、革新的なソリューションの創出を支援している。